

今週（6月12日から6月16日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、前週の段階で積みの進捗に目途を付けた先が多かったと思われ、12日から14日まではビッド数が減少し、レートは低位での取引が中心となった。15日は積み最終日となった事で、最終調整ニーズからやや上昇する展開となった。新しい積み期間となった16日は、マクロ加算残高にかかる基準比率が69.0%となり、前積み期に比べ2.5%上昇したものの、調達サイドの様子見姿勢が強く、レート水準は15日に比べ若干上昇した程度での取引となった。ターム物の出合いは、6月末までのショートタームで▲0.07～▲0.04%のレンジで出合いが見られた。

日銀当座預金残高は、12日にTB3M物と6M物の発行・償還、15日に年金定時払いがある中、各種オペ要因も加わり、530兆円台前半から540兆円台前半での推移となった。

また、6月15日、16日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

●レポ市場

今週のGC T/N物は、概ね▲0.115～▲0.080%程度での出合いとなった。SCIは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札結果を受け3Mゾーンが軟調に推移した。

15日に実施された3M物の入札は、按分落札利回り▲0.1308%、平均落札利回り▲0.1526%と、弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.144～▲0.140%での出合いが見られるなど、小甘く推移した。

短国買入オペは、13日に前回と同額の1,000円億でオファーされ、按分利回較差+0.005%、平均利回較差+0.005%と、無難な結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、医薬品・電気機器・小売等複数の業態で大型発行が行われ、週間の金額ベースでは発行超のマーケットとなった。

市場発行残高は、週前半は概ね25兆円台後半での推移となったが、14日以降にやや増加し、15日には3月下旬以来となる26兆円台を回復した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄で0%前後の出合いが中心となる一方で、ロングターム物については、今後の政策変更の警戒感から、一部レート水準にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
6/12（月）	32,434.00	0.425	139.37	△ 0.058	△ 0.090	5,335,700
6/13（火）	33,018.65	0.415	139.65	△ 0.079	△ 0.106	5,331,000
6/14（水）	33,502.42	0.425	140.03	△ 0.078	△ 0.110	5,327,100
6/15（木）	33,485.49	0.425	140.28	△ 0.070	△ 0.102	5,405,100
6/16（金）	33,706.08	0.400	140.09	△ 0.061	△ 0.091	5,423,900

来週（6月19日から6月23日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/19 (月)		TB1Y 35,000億円 6/20発行			New York祝日 (Juneteenth National Independence Day)
6/20 (火)					5月の米住宅着工件数
6/21 (水)	鹿児島県金融経済懇談会において安達日銀審議委員講演 金融政策決定会合議事要旨(4月27・28日分 8:50)				5月の英消費者物価指数
6/22 (木)	月例経済報告（内閣府） 沖縄県金融経済懇談会において野口日銀審議委員講演	5Y 25,000億円 6/23発行			英中銀MPC結果発表 5月の米中古住宅販売
6/23 (金)	5月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 63,000億円 6/26発行			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/19 (月)	▲ 700	▲ 6,000	▲ 6,700	貸出増加支援 国債補完 CP買入 社債買入	▲ 26,800 39,000 ▲ 200 ▲ 700	59,500	70,800	64,100	TB3M発行▲63,000償還61,500
6/20 (火)	▲ 1,000	75,000	74,000				0	74,000	国債大量償還・利払い TB1Y発行▲35,000償還33,800 5Y償還6,200、10Y償還46,000 20Y償還12,000 エネルギー対策借入▲7,900期日8,000
6/21 (水)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 12,000	機関貸元利回収
6/22 (木)	▲ 1,500	4,000	2,500	社債買入		1,000	1,000	3,500	
6/23 (金)	▲ 1,000	▲ 18,000	▲ 19,000				0	▲ 19,000	5Y発行▲25,000
週 間 合 計	▲ 5,200	52,000	46,800	—	3,300	60,500	63,800	110,600	

6/19は日銀予想、6/20以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、20日に国債の大量償還を控えているが、マーケットへの影響は限定的と思われる、引き続き今週と同水準での取引が予想される。債券レポ GC T/N物は、新積み期入り直後のため資金ニーズの動向が注目される。短国市場は、19日に1Y物、23日に3M物の入札実施が予定されている。また、21日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、特段のイベントがない中、期越えの発行がどこまで膨らむか、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、21日に金融政策決定会合議事要旨(4月27・28日分)、22日に6月の月例経済報告、23日に5月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、22日に英中銀MPC結果発表などが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入